

観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち—日本の湖水地方—

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

平成22年度『観光まちづくりカレッジ』の受講生を募集します！

平成20年度、21年度と2カ年度にわたり、花岡利幸観光地域プロデューサー(山梨大学名誉教授)の指導のもと、住民主導のまちづくり推進を目的として、人材育成と観光まちづくりの実践を同時に行う「観光まちづくりカレッジ」(以下、カレッジと略します)を実施してきました。このカレッジで学んだ方々は、現在様々な分野で観光まちづくりのけん引役として活躍されています。

さて、今年度も引き続きカレッジを実施することとなりましたので、観光まちづくりの実践に関心をお持ちの方を募集します。

今年度のカレッジでは、「富士山麓の食を考える観光まちづくり」を基本テーマとして、参加者が共に考え、企画し、実践することを通じて観光まちづくりの基礎から応用までを学んでいくこととします。カレッジの主任教授は、再び花岡先生にお願いすることになりました。また、昨年度カレッジの卒業生の皆様がカレッジ運営をサポートしていきます。以下が今年度カレッジの概要となります。

	月日	内容	講師等
①	10月4日(月)	今年度カレッジの概要 観光まちづくり概論	事務局 花岡利幸氏(山梨大学名誉教授)
②	10月19日(火)	食からの観光まちづくり、各地の取組み紹介 ディスカッション	堀木美告氏(財団法人日本交通公社) 受講生主体のシンポジウム形式
③	11月9日(火)	今年度カレッジのアクション・プラン作成 (何に、どのように取組み、どのような実践を行うかを検討する)	花岡利幸氏
④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	概ね、2~3週間 ごとに1回	③で作成したアクション・プランに基づき、調査、企画、実践を行っていきます 必要に応じて先進的な取組み地域での研修などを組み込みます	(必要に応じ講師を依頼)
⑩	3月14日(月)	今年度カレッジの総括	花岡利幸氏

※ 原則として開催曜日は月曜日、時間は14時~16時、頻度は2~3週間に1回のペース、場所は勝山ふれあいセンターで行います。受講料無料(ただし、資料代、材料代、研修旅費などは原則各自負担)。

※ 詳細は受講申込者に対して改めてご案内いたします

平成22年度観光まちづくりカレッジの受講を希望される方は、氏名、性別、年齢、住所、電話番号、(あれば)電子メールアドレス、ならびに「観光まちづくりカレッジを通じてチャレンジしたいこと」についての考えを記載した申込書(様式自由)を観光振興支援室宛にお送りください(持参、FAX、または電子メールにて)。申込み締切りは**9月22日(水)必着**といたします。

住民主導の観光まちづくりを実践したいとお考えの方、食を通じた観光まちづくりや地元の食材を観光まちづくりに生かしたいとお考えの方など、皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

観光まちづくり企画提案事業として6プロジェクトを選定しました

広報6月号で公募した、住民の皆様自身の手による観光まちづくり活動を支援するための「観光まちづくり企画提案事業」については、1次審査、2次審査を経て、最終的に以下の6つのプロジェクトを選定しました。

- ほおづき(スイートパール)の普及による中国人観光客の受入体制整備
- 宝探し観光集客プログラム企画
- 外国人が楽しめる酒蔵見学プログラムの創出
- 河口湖アートプロジェクト
- 観光客の携帯バーコードリーダーを活用した「河口湖とっておき観光ナビマップ」の施行実施
- ミニFM放送局による、紅葉まつり情報の案内

これらのプロジェクトの動向については、今後も本「かわら版」を通じてご紹介していきます。